

「頼家祭年中行事控」の翻刻と解説

小竹佐知子・大久保恵子

↑ 前東京成徳大学助教授

我々は、本学紀要当巻41ページ～52ページで、別稿「頼家献立資料の分類と解説」を発表した¹⁾。これは同家第一〇代惟勤氏（一九二一～一九九九）による分類をもとに、広島県の頼家頼家に伝わる多くの資料の中から献立に関する資料を整理分類して紹介したものであるが、同家にはこのほか、これに関連する資料として「家祭年中行事控」がある。分類番号707-1-1に当るもので、一八〇八年頃第五代春水が記録したと考えられるが²⁾、これは、頼家における当時の家祭の準備・運営方法や年間日程が書かれるなど、家祭研究上の貴重な資料といえることができる。

本稿ではこの「家祭年中行事控」を翻刻紹介する。資料を整理すると家祭年中行事は表1のようになる。

註

- 1) 小竹佐知子・大久保恵子「頼家献立資料の分類と解説」山梨県立女子短期大学紀要、第三五巻、41～52（二〇〇二）
- 2) 皆川美恵子『頼静子の主婦生活『梅風日記』にみる儒教家庭』、雲母書房、一二八ページ（一九九七）

707-1①	極月上旬 煤払 未明より 出入之者 多門之者 平日掃除人 当日膳部を輪汁付 昼前後見合祝酒 取計候事 模相銀上納之事 年始用味噌仕込 飯米揃込 餅米志候 外二尊斗斗 餅用薪之事 御礼銭用意之事 魚目一銭宛改 さし札新出之事	707-1②	節分 豆打 但願ひいらき不用 当日膳部 烹飪 肴見合 歳暮進物 栗礼等 廿五六日迄 取計候事 竹原進物ハ便給次第 餅搗 廿五六日 当日膳部 搗立小餅 味噌汁 肴見合 ニツニツ宛 白豆腐 かつほ	707-1③	餅取 祠堂 具足 竹原 御多門 歳暮進物之家 竹原 御多門 加藤家 駒井家 進藤家	707-1④	手嶋伊助 海部屋武兵衛 此妻り大坂 より召進候者 室屋事右衛門 茨屋利兵衛 右向家ハ広嶋着之節 引受取計有之因ミ 林堅良 町医 竹原同郷 広島住之因 茂八 大坂已某召仕候者 くめ 西新地町表具屋氏衛母 当分町宅已某出入 げん 山田屋九郎右衛門後家も 竹原同郷之因	707-1⑤	門松 毎歳持参之者へ札懸式 掃除人砂もち 包ミ遣ス ミの組 但家内しめなわニ不及 伊勢御師 曆 御坂 はし 札銀二匁 年始書通
--------	---	--------	---	--------	---	--------	--	--------	--

年頭札式用 蓬萊 三笠 紙式祝しき 左右へ 山草 四角へ 白米 山もり 昆布 切さき廻し 樽子集付 串柿 四ツ三ツ宛 寒酒 来客用 吸物 魚きりミ 三盆 至台 したミ付 餅子 重之物 贈答俵付四角四重 大灰住之節と相用 にしろ 酢生房 煮豆	707-1 ⑥
二月御札 朔日 先考様御忌日 丁祭時祭之事 丁祭ハ 上下中丁之内 時祭ハ 日を扱候事 十日 妙然様御忌日 十一日 顯妙院様御忌日 十五日 御札 廿八日 御札 三月朔 御札なし 三日 御札 十五日 高祖母様御忌日 十八日 祖母様御忌日	707-1 ⑦
四月朔 御札 御堂朝賀 七日 伝正院様御忌日 十五日 朝賀 十七日 先慈様御忌日 廿三日 玄徳院様御忌日 廿八日 御札 五月朔 御札 御堂朝賀 五日 御札 十三日 高祖母様御忌日 十五日 御札 十五日 御堂朝賀	707-1 ⑧
六月朔 御札 御堂朝賀 十一日 淨円様御忌日 十二日 妙龜様御忌日 十五日 朝賀 廿九日 朝賀 朝拜院様御忌日 七月朔 御札 御堂朝賀 七夕 御札 十一日 乗蓮様御忌日 十五日 御札 廿八日 御札	707-1 ⑨
八月朔 御札 御堂朝賀 丁祭 時祭之事 十三日 竹原祭礼 十四日 御札 十五日 朝賀 廿五日 清光院様御忌日	707-1 ⑩

九月朔 御礼 祠堂朝奠 二日 叔父・叔母・御忌日 三日 自得院御忌日 六日 曾祖母御忌日 九日 御礼 祠堂朝奠 菊花 十五日 御礼 祠堂朝奠 十七日 御在国年 東照宮御拝参御儀式 廿九日 白神社祭礼 御初穂礼 銀毛反式分	十月朔 御礼 祠堂朝奠 五日 祖母御忌日 十五日 御礼 祠堂朝奠 十八日 深広院御忌日 十九日 外祖母御忌日 廿四日 曾祖母御忌日 廿八日 数玉様 田乗御忌日	十一月朔 御礼 祠堂朝奠 十五日 御礼 祠堂朝奠 十九日 鶴草院御忌日 廿三日 外祖父御忌日 漬物大根 菜 切干大根 年始用味噌 味噌味噌 塩島 右用意之事	十二月朔 御礼 祠堂朝奠 十五日 御礼 祠堂朝奠 廿八日 御礼 祠堂朝奠 横相掛銀 年始用 餅米 御礼様 歳暮諸進物 伊勢大夫へ札銀三匁 安養院へ札銀三匁 歳末御礼	毎朝祠堂御礼 平服 家内小虎迄一同 必ずませうし開き迄 夜半曉天出宅之節ハ必ず外にて 拝礼 主人 朔 雑用衣 祠堂前より次迄掃ふき 祠堂 酒肴御供 家内一同頂戴 望 雑用衣 朔同前 祠堂 茶菓御供 家内一同頂戴 佳日 麻上下 祠堂御供 祠堂のこし 諸供物ハ到来物別て遠方之品 吹簫之事	時祭 二月 八日 礼服 春ハ白魚 秋ハ鮎 を主とし 御目柄 諸親類至交無之 竹原と渡海之事 右〇合候上ニて日並話定候て 拝供之献立諸品取調候事 当日来客ハ案内 駒井家 進藤家 手嶋伊助家内不殘 梶山六一 岩戸直次 海部屋武兵衛 惣出入之者 下安下男迄	忌日祭 祭服上下別ニ有之 献立諸供物前日早朝取しらへ 米 老粒より煮白斗 御膳廻着 御焼八雲器 鍋釜之類 火鉢 床二 几案 香炉香盆 諸御供物おろし 家来共へ頂戴 附位忌祭 大抵右同様御向詰不用	祖叔父様 叔父様 をは様 外祖母様方 外舅 外姑 右忌日ニハ床に小机空位にて上香 拝礼 別段拝告候事ハ朝奠之通 学事ニ付候事ハ祝文相用
---	--	---	---	---	--	--	--

表1 家祭年中行事日程

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1日 御礼(天心院様)	【先考様】	祠堂朝賀	御礼朝賀	御礼朝賀	御礼朝賀	御礼朝賀	御礼朝賀	御礼朝賀	御礼朝賀	御礼朝賀	御礼朝賀
2日 御礼(天心院様)	2月中 《丁祭》 上下中の 丁の内	御礼朝賀					8月中 《丁祭》 上下中の 丁の内	御礼朝賀	御礼朝賀	御礼朝賀	御礼朝賀
3日 御礼(天心院様)								【叔父融敬様】			12月中 煤払 上旬に
4日 御帖								【自得院様】			
5日									【祖考様】		
6日								【會祖母様】			
7日 祠堂	《時祭》 日を遡んで		(伝正院様)				《時祭》 日を遡んで				
8日											
9日								御礼朝賀			
10日	【妙然様】										
11日 具足鏡ひらき	【頭妙院様】										
12日											
13日 (体国院様)											
14日							竹原祭礼				
15日 祠堂朝賀	御礼朝賀	【高祖母様】	御礼朝賀	御礼朝賀	御礼朝賀	御礼朝賀	御礼朝賀	御礼朝賀	御礼朝賀	御礼朝賀	御礼朝賀
16日											
17日											
18日		【祖母様】	【先妣様】								
19日											
20日											
21日											
22日											
23日											
24日											
25日											
26日											
27日											
28日 (休日)	御礼										
29日											

行事
作業
拜供物
【〇〇様】…藩主一家の忌日
【〇〇様】…頼家先祖の忌日

(110011年 一月七日 亥時)